

【児童・生徒の実態】
○素直で落ち着いている。
○郷土への愛着心がある。
○自己肯定感が低く、主体性や表現力に課題がある。

【地域の実態】
○誇れる自然や伝統文化がある。
○学校教育に協力的である。
○地域としてのつながりや連携性が高い。

【津野町教育委員会の方針】
①夢や希望を持ち、心豊かでたくましい子どもの育成
②自ら学び、考え、行動できる子どもの育成
③伝統と文化を大切にし、故郷を愛する子どもの育成

【学校の教育目標】
<小学校> 『つなぐ』 ～言葉・心・笑顔～
<中学校> 課題を発見し、仲間とともに解決することができる生徒の育成 ～チャレンジして失敗する 失敗から学ぶ～

【本事業推進に向けての方針】

地域の人・もの・ことから学び、自分の生き方やふるさについて自分の言葉で語れる子どもの育成

【保護者・地域の願い】
○健康で安全な生活。
○好ましい人間関係の育成。
○基礎的な学力、技能の定着。
○自己実現の支援。
○地域を大切に思う人になってほしい。

【外部人材の活用】
○学校運営協議会
○地域コーディネーター
○津野山古式神楽保存会
○行政機関との連携

【生活科の目標】

具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、自立し生活を豊かにしていくための資質・能力を次のとおり育成する。
(1) 活動や体験の過程において、自分自身、身近な人々、社会及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付くとともに、生活上必要な習慣や技能を身に付けるようにする。
(2) 身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現することができるようにする。
(3) 身近な人々、社会及び自然に働きかけ、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする態度を養う。

【総合的な学習の時間の目標】

探究的な見方・考え方を働かせ、ふるさとに関わる学習を通して、目的や根拠を明らかにしながら課題を解決し、自己の生き方を考えることができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。
(1) 地域の人、もの、ことに関わる探究課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに地域の特徴やよさに気付き、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることを理解する。
(2) 地域の人、もの、ことの中から課題を見出し、課題解決に向けて調査して得た情報を基に考えたりする力を身に付けるとともに、考えたことを根拠を明らかにして、まとめ・表現する力を身に付ける。
(3) 地域の人、もの、ことについての探究的な学習に主体的・協働的に取り組み、積極的に社会に参画しようとする態度を育てる。



【学校として定める探究課題と、探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力】

ステージ		I 期	Ⅱ期		Ⅲ期		Ⅳ期
学年		1・2 年	3・4 年		5・6 年		中1～3 年
		生活	総合		総合		総合
テーマ		津野町が好き	津野町に学ぶ		津野町と関わる		津野町をつなぐ
探究課題			・津野町の自慢（お茶づくり・天狗高原・人） ・津野町の自慢に関わる人々の思い	・東津野地域の川と山の魅力 ・東津野地域の川と山に関わる産業や保全に関わる人々の思い	・北川川の鮎における魅力の発信 ・北川川の鮎に関わる人々の思い	・東津野地域の産業と産業に関わる人々の思い ・津野町の未来と自分	・地域の魅力や課題 ・津野山古式神楽の歴史・演目・保存会 ・津野町のゆるキャラづくりを通した観光振興 ・津野町の環境を守る人 ・地域の産業や文化を守る人 ・津野山古式神楽の伝統文化を継承する人
探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力	知識及び技能	・活動や体験を通して、自分自身、身近な人々、学校や地域及び自然の特徴やよさ、それらの関わり等について気付く。 ・生活上必要な習慣や技能を身に付ける。	・地域の自然や産業に関心をもち、そこで生活している人々のくらしや思いについて理解する。（知識）	・ふるさとの川や山に興味をもち、体験を通して自然の大切さについて理解する。（知識）	・北川川の鮎から広がる自然、社会事象に興味・関心を持ち、人々の暮らしや思いについて理解する。（知識）	・ふるさとの人、自然、歴史、文化について学び、自分との関わりについて理解する。（知識）	・津野町の魅力や津野山古式神楽の歴史、神楽に関わる人々の思いや願い、現状や課題を理解する。（知識） ・情報を多面的、比較・分類、発信するなど探究の過程に応じた技能を身に付ける。（技能） ・津野町を大切に思える気持ちは、津野町の魅力や課題、伝統文化に関わる人々について探究的に学んだことによる成果であると気付く。（探究的な学習のよさの理解）
	思考力・判断力・表現力等	・活動や体験を通して、身近な人々、学校や地域及び自然を自分との関わりの中で捉え、自分自身や自分の生活について考えることができる。 ・活動や体験を通して、気付いたり感じたりしたことを、言葉や絵、動作化等、多様な方法で表現することができる。	・自分の関心からふるさとの自然や産業などについての課題を設定し、解決方法を考える。（課題の設定） ・教師の支援により手段を選択し、情報を収集することができる。（情報の収集） ・問題状況における事実や関係を、事象を比較したり分類したりして理解し、多様な情報の中にある特徴を見付けることができる。（整理・分析） ・相手に応じてわかりやすくまとめ、表現することができる。（まとめ・表現）	・ふるさとで暮らす人々の思いをふまえて課題を設定し、解決方法や手順を考え、見通しをもつ。（課題の設定） ・自分なりの手段を選択し、情報を収集することができる。（情報の収集） ・問題状況における事実や関係を、整理した情報を関連づけて理解し、多様な情報の中にある特徴を見付けることができる。（整理・分析） ・相手や目的、意図に応じてわかりやすくまとめ、表現することができる。（まとめ・表現）	・地域社会に広く目を向け、活動の意図や目的を明確にして課題を見い出す。（課題の設定） ・課題や問題解決に応じて手段を選択し、自ら情報を収集したり、必要な情報を取捨選択したりしながら、適切に蓄積することができる。（情報の収集） ・視点を明確にして整理し、蓄積した情報を多面的に分析し、多様な情報にある特徴を見付けることができる。（整理・分析） ・他教科で培った技能を活用し、相手や目的に応じてまとめ工夫して表現したり、地域や自分の将来のために生かしたりすることができる。（まとめ・表現）		
	学びに向かう力・人間性等	・活動や体験を通して、身近な人々、学校や地域及び自然に親しみをもち、身近な人々や地域に積極的に関わろうとする。 ・活動や体験を通して、意欲や自信をもって学んだり生活を豊かにしたりしようとする。	・課題解決に向けて、自分のよさや自分のできることに気付き、自分と異なる意見や考えがあることを知り、探究活動に取り組もうとする。（自己理解・他者理解） ・課題の解決に向けて、探究活動に取り組み、身近な人と協働して探究活動に取り組もうとする。（主体性・協働性） ・自分と地域とのつながりに気付き、自分にできることを見つけ、行動に移そうとする。（将来展望・社会貢献）	・課題解決に向けて、自分らしさを発揮して探究活動に向き合い、異なる意見や他者の考えを受け入れながら、探究活動に取り組もうとする。（自己理解・他者理解） ・課題の解決に向けて、探究活動に進んで取り組み、他者と協働して探究活動に取り組もうとする。（主体性・協働性） ・自分と地域の関わりを考えながら、進んで地域の活動に参加しようとし、地域のあり方について提言しようとする。（将来展望・社会貢献）			

【学習活動】
・地域の実態、児童生徒の実態、他教科との関連を踏まえ、課題を設定する。
・地域の人、もの、ことを生かした学習活動を行い、自己の生き方につながることを意識する。

【指導方法】
・各教科・領域等の関連を図った指導の工夫をする。
・課題をもたせ、体験活動を重視する。
・ゴールイメージをもたせながら、探究課題を連続、発展させる支援と工夫を行う。

【指導体制】
・9年間のつなぎを意識し、全校指導体制を組織する。
・地域の自然環境、文化、歴史、働く人々に触れる機会を設定し、日常的な関わりを行う。

【学習評価】
・活動過程を重視し、個人内評価をする。
・指導と評価の一体化を充実させる。
・期末、学年末には指導計画を評価、改善し、次年度の計画に生かす。

【各教科等との関連】

道徳教育	キャリア教育
・課題解決に向けて、主体的に活動するための道徳的な判断力、心情、実践意欲等を育む。 ・郷土に対する認識を深め、郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めようとする態度を育てる。 ・仲間を大切にし、思いやりや感謝の気持ちをもてるようにする。	・地域の体験活動をしたり地域の人々と関わったりすることで、地域を知るとともに主体的に学ぶ意欲を育成する。 ・様々な分野の大人と触れ合うことにより、多様な生き方や価値観に触れ、経験し、感じたことをもとに自分で考え行動する能力を身に付ける。 ・自己の個性を理解し、将来の夢や希望の実現に向けて必要な意欲・態度や能力を身に付ける。